

## ⑥2津波被災地の復興まちづくり けがや 毛萱仏浜地区海岸・富岡川 県道 広野小高線（毛萱工区）

受賞機関 福島県 富岡土木事務所

**キーワード** 多重防御、総合的な防災力、破堤しにくい粘り強い構造、津波減衰効果

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

海岸堤防復旧、道路改良、河川改修等による地域の防災力向上の取組。各事業の整備及び「防災林整備」による多重防御に加え、粘り強い海岸堤防構造による周辺住民の避難時間の確保と住民の速やかな避難（ソフト対策）により、想定を超える津波に対しても総合的な防災力の向上を図ったことが評価された。

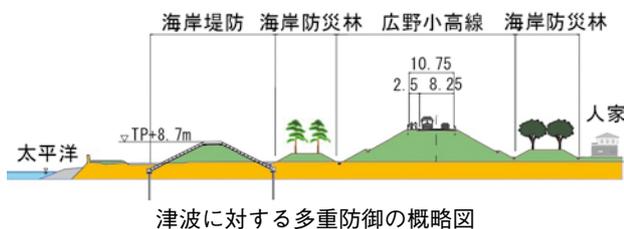
### 1. はじめに

双葉郡富岡町は東日本大震災の震度6強という猛烈な揺れに加えて、想定を大きく超える津波襲来と原子力発電所事故による放射性物質拡散という未曾有の複合災害により、全町民が全国各地への避難を強いられたが、震災発生から5年以上経過した平成28年ようやく復旧・復興事業に着手し、令和4年度に復興まちづくりを支える主要なインフラである海岸及び河川堤防・道路改築工事が完成した。

### 2. 事業の概要

本事業では甚大な津波被害を受けた地区において、従来の海岸堤防のみの津波対策ではなく、海岸堤防の嵩上げ、道路改築、河川改修、防災林、土地利用の再編などの「多重防御」と、地域防災意識の向上などソフト・ハード両面から総合的な防災力の高いまちづくりを進め、地域の防災力向上を図った。

毛萱仏浜地区海岸の海岸堤防復旧工事では、既存堤防より約2.5m高いT.P.+8.7mとした。また、破堤しにくい粘り強い構造とし、津波減衰効果等がある海岸防災林の整備を実施するとともに、施工時期や範囲を調整し、早期の効果発現を図った。



富岡川河川改修では、震災前に計画していた河川改良を前倒して実施し、治水安全度を向上させ沿川住民の安全・安心を確保するとともに、地域住民の意見を反映し親水施設や歩行空間、護岸緑化等の環境整備も併せて実施した。

県道広野小高線（通称「浜街道」）の道路改築では、震災後は復興まちづくりを支援する道路として整備を推進したが、今後の復興の進展により、震災以前に期待していた交流・関係人口の拡大、観光支援等の機能を担うものと考えている。

### 3. 事業の成果

地域住民や環境省等の関係機関と復興まちづくりという共通の目標を掲げ住民ワークショップを開催し、広く意見を取り入れ事業を進めたことにより、地域全体の防災意識の向上が図られた。地域の防災力向上により、沿岸部の交流や地域間の連携が一層進み、浜通りの復興を力強く後押しすることが期待される。

また、県道広野小高線は県の広域サイクリングルートに含まれており、今後、太平洋を望む新たなルートとして観光振興や交流人口の拡大も期待されている。



海岸堤防と道路改築事業 完了

### 4. おわりに

未だ多くの住民の方々が町外に避難を強いられ、震災からの復興は道半ばであるが、堤防・道路等の基盤整備が、早期の復興を加速するものと期待される。

最後に多くの課題を乗り越え本事業の完成を迎えることができたのは、地域の皆様をはじめ、工事関係者、関係機関のお力添えによるところであり、心より感謝申し上げます。

賛助会員 横山建設(株)、(株)加地和組、桂建設(株)